

## 館種を超えた「三館連携・津山モデル」

## 岡山県 津山市立図書館

## 基本データ

所在地	岡山県津山市新魚町17 アルネ・津山4階(本館)
職員数	25人
うち司書数	21人
蔵書数	502,022冊
利用登録者数	79,323人
年間貸出冊数	638,497冊 (児童用図書貸出数 264,517冊)

## テーマ・活動のねらい等

## 【テーマ】連携

## 【活動のねらい】

- 設置主体の異なる図書館が協定に基づいた連携を行うことで、それぞれの強みと資産を活し、津山市の読書・学習環境の拡充とそれぞれの館の利用者の利便性の向上を目指すことができる。

## 取組・活動の概要

## (1) 「三館連携」の経過

- 平成19年5月 美作大学図書館と津山市立図書館の相互協力に関する協定締結
- 平成20年4月 三館(津山市立図書館、美作大学図書館、津山工業高等専門学校図書館)の相互協力に関する協定締結
- 平成20年10月 三館と市内6高校の相互協力に関する協定締結
- 平成30年1月 三館連携10周年記念事業「地域と暮らしをおいしくする図書館(スパイス)」開催(会場 美作学園創立100周年記念館)

## (2) 「三館連携」特徴

- 利用者等の教育、学術及び文化の発展に資することを目的とする。
- 三館連携の特徴は、  
-設置主体の異なる三者(市・私立大学・国立高専)に公立高校・私立高校を加えた連携  
-市立図書館の職員が毎日資料を配送  
-お互いの図書館を地区館のように利用できる

## (3) 「三館連携」に基づく事業

- 協定に基づき、市立図書館の配送便がほぼ毎日市内を巡回し、それぞれの図書館から他の図書館に資料を搬送している。
- 図書館間の相互貸借ばかりでなく、一般市民や

生徒、教職員(高校においては生徒、教職員が対象)は各図書館を窓口として他の図書館の資料を利用したり返却することができる。



津山市立図書館自動車文庫(美作大学「白梅祭」出店の様子)

- 三館連携事業として大学、津山高専の講師を市立図書館に迎えた講演会や、学生・市民を交えたビブリオバトルの開催、市内高校による企画展示など多彩な事業を実施している。



津山高専連携事業 図書館を使った調べる学習コンクールチャレンジセミナー「あなたの知らない水の世界」

- 令和元年度から津山市立図書館と市内 IT 企業が共同開発したサテライト貸出システム「カリコレ」を利用して美作大学図書館内で市立図書館の団体貸出資料を学内提供している。



「カリコレ」の画面



美作大学図書館内「カリコレ」を利用した市立図書館の図書コーナー

## 取組・活動の工夫や特徴

- 三館連携は「相互協力の手引き」を作成し、処理手順を共有している。(随時更新)
- 津山高専図書館が関係機関のメーリングリストを作成、日常的な連絡はメーリングリストを活用する。
- 毎年、三館の定例会議、市内高校を含めた担当者会議を開催している。
- 津山市と美作大学・美作大学短期大学部、津山高専は包括連携協定を結んでおり、三館連携はその一部門として位置づけられ、取り組みを共有している。

## 取組・活動の成果や今後の展望

- 三館連携 10 周年記念事業での記念講演会において、講師から、それまで地道に行ってきたことが、全国でも類を見ない「津山モデル」と評価され、また津山市の取り組みを紹介する機会を得ることができた。
- 広報を通じてさらに市民に三館連携による図書館の利便性を周知しそれぞれの図書館並びに地域力の向上に努めたい。



市立図書館の貸出券があればどなたでも「美作大学・津山高専で市立図書館の本を受取・返却」「市立図書館で美作大学・津山高専の本を受取・返却」ができます。

高校図書館においては、生徒・教職員の方を対象として「それぞれの高校図書館で美作大学・津山高専・他高校・市立図書館の本を受取・返却」ができる非常に便利なサービスとなっています。

大学・高専・各高校図書館の協力のもと、資料の搬送を津山市立図書館が行うことにより、現在も安定したサービスを提供し続けています。



美作大学図書館「こころの図書館」  
津山高専図書館「こころの図書館」  
津山市立図書館「こころの図書館」

三館連携 イメージ